

## 平成 26 年 4 月 1 日チリ北部地震 (M8.2) の地震・津波被害の現地調査速報

### 1. 調査の概要

期 間：平成 26 年 4 月 9 日 (水) ～18 日 (金) (10 日間)

対象地：チリ北部の沿岸地域 (アリカ・パリナコタ州アリカ市～タラパカ州パタチェ地区)

調査団：独立行政法人港湾空港技術研究所 海洋情報・津波研究領域 領域長 富田孝史 (団長)

国土交通省国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 主任研究官 熊谷兼太郎

Cyril Mokrani, Post -Doctoral Position, Universidad Catolica Santiago de Chile

独立行政法人国際協力事業団 (JICA) チリ支所 業務調整員 松井均

備 考：日本・チリの津波国際共同研究を実施中 (チリ SATREPS プロジェクト\*) であり、今回の調査は、同プロジェクトの参加研究者等により組織された日本・チリの合同調査団で行った。

\*独立行政法人科学技術振興機構・独立行政法人国際協力機構の「地球規模課題対応国際科学技術協力」制度 (SATREPS) を活用した科学技術に関する国際共同研究の枠組み。チリ SATREPS プロジェクトの詳しい情報については <http://www.pari.go.jp/special/special3/> を参照。

### 2. 被害の状況

- ・チリ北部の沿岸地域の 7 地区 18 地点 (南北方向に約 270 km の範囲) で津波痕跡を測量した。最大遡上高は 4.60m (潮位補正前の暫定値) であった。
- ・津波被害は総じて小さかったが、漁船の被害、イキケ市内沿岸 2 ブロック程度の浸水被害等が生じた。
- ・地震被害はイキケ港のふ頭の不等沈下、イキケ市郊外の幹線道路の大規模な法肩崩れ、イキケ市内で建物被害 (約 1,000 棟の被害)、火災 (3 件)、電気・水道の停止 (最大 4 日間) 等が生じた。

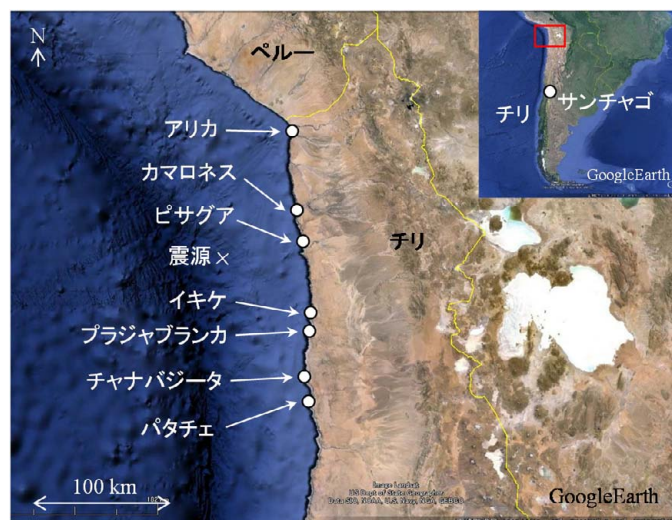


図-1 調査地点 (白丸の 7 地区 18 地点で津波痕跡を測量)



写真-1 津波痕跡（プラジャブランカ地区・矢印の位置）



写真-2 津波被害（イキケ市内・被害を受けた小型漁船）



写真-3 地震被害（イキケ港・ふ頭の不等沈下）



写真-4 地震被害（イキケ市郊外・幹線道路法肩崩れ）

### 3. その他

- ・本速報は速報性を重視した現時点の暫定的資料で、記載した情報は今後訂正される可能性があります。
- ・本調査は、独立行政法人科学技術振興機構・独立行政法人国際協力機構の「地球規模課題対応国際科学技術協力」制度（SATREPS）を活用して実施しています。

### 4. 連絡先

国土交通省国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部

主任研究官 熊谷兼太郎

住所：〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬 3-1-1

電話：046-844-5024, Fax：046-844-5068, E-mail：kumagai-k27n@ysk.nilim.go.jp